

# ringJAN™ Series パラメータ設定がイド





京 〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-3 神田大木ビル TEL. 03-5295-7250(代) FAX. 03-5295-7252

神 戸 〒651-2242 神戸市西区井吹台東町1-1-1 西神南センタービル S D C 〒651-2102 神戸市西区学園東町6丁目2-3-1F TEL. 078-993-6010 (代) FAX. 078-993-6020 [本部/SDC] (\*) SDC stands for Support and Delivery Center

改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	
Rev.1.0	2017/07/25 (初版)
Rev.1.1	2017/12/20 microUSB カバー, マグネットコネクタに関する説明を追加
	microuss Jii - , Y/ 1971-1971に関する説明で短加
	l .

- 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
- 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
- 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
- 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

### 製品保証と注意事項

#### 「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より1ヶ年とさせていただきます。

#### 「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。 但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

- 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
- 故障の原因が納入者以外の事由による場合
- 外装部品の損傷
- 自然劣化・消耗部品
- 需要者側で改造・修理を行った場合
- 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただき ます。

#### 「修理」

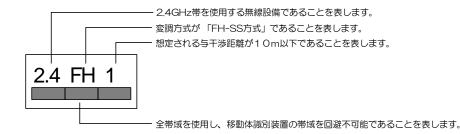
修理は全てセンドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

#### 「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足  $_{\rm J}$ 」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害(ラジ $_{\rm J}$ ・ $_{\rm J}$ ・ $_{\rm J}$  などの受信障害)が起こることがあります。

#### 「電波について」

- 電波に関する注意 ■
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造 ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特 定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- ◆ 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技 術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては



#### 「その他」

● 納入品の価格には、サービス費用は一切含んでおりません。

### 安全上の注意

- ◇ ご使用の前に本書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。
- ◆ 本書は、いつでも見られる場所に大切に保管してください。

# $\triangle$

#### 使用上の注意

- ✓ レーザ照射窓を覗いたり、レーザビームを直視することは絶対にしないでください。
- ✓ 分解・改造しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ ガス・火薬など可燃性物質が発生する場所での使用はしないでください。破裂・発火・火災の原因となります。
- ✓ 衝撃を与えたり、落としたり、本機の上に物を置いたりしないでください。
- ✓ 小児の手の届くところに置いたり、使用させないでください。
- ✓ 雨や水などがかかる場所で使用しないでください。
- ✓ ストラップを持って振り回したりしないでください。破損やけがの原因となります。
- ✓ 炎天下の車内や冷凍庫など高温・低温になる場所には放置しないでください。
- ✓ 湿度の高い場所や誇りの多い場所には放置しないでください。
- ✓ 使用温度範囲内で使用してください。
- ✓ 静電気の起こりやすい場所やテレビなどの磁気を発生する機器のそばには置かないでください。
- ✓ 安定しない場所に放置、保管しないでください。
- ✓ 低温の場所から高温の場所へ移動すると、結露が発生する恐れがあります。結露が発生した場合は、水滴が完全に蒸発するまで、本機をしようしないでください。
- ✓ 本機の別ーニングは、柔らかい布で軽くからぶきするか、中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってから軽く拭いてください。

#### <u> 充電池および充電器・充電に関する注意(前項目に加え、下記の事項に注意ください)</u>

- ✓ 付属の AC アダプタ以外は、絶対に使用しないでください。発熱・火災・けがの原因となります。
- ✓ 異物を入れないでください。ショートや発熱により、火災・感電の恐れがあります。
- ✓ AC プラグや電源コードを引っ張ったり、ねじったり、負荷をかけたり、加工したりしないでください。火災・感電の原因となります。
- ✓ AC プラグや電源]-ドが傷んだ場合は、すぐに新しいものと交換してください。火災・感電の原因となります。
- ✓ 濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。感電の原因となります。
- ✓ 充電は、必ず 0~40℃の温度範囲で行ってください。
- ✓ 指定以外の充電池を使用しないでください。
- ✓ 充電池は、デバイスから取り外し、金属などがない 0~40℃の温度範囲の場所に保管してください。
- ✓ 充電池を充電しても動作時間が短い場合は、充電池の寿命です。新しい充電池をお求めください。
- ✓ ご不要になった充電池を廃棄する場合は、各自治体の条例に従い、正しく処理してください。

### 充電池に関する注意

#### 充電池の寿命

充電池の特性上、十分な充電を行っても使用できる時間が短くなった時が交換の目安となります。本製品の電池交換は、お客様では行えませんので、弊社又はお近くの販売店までご相談ください。

#### 安全に、より長く充電池パックをご使用いただくために

- ご購入後、最初に約3時間の充電を行ってください。
- 充電は、18~25℃の環境で行ってください。
- ▲危険・警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。

#### ▲危険

- 専用充電器以外では充電しない。
- ハンダ付けや分解・改造・変形をしない。
- 火中投入、加熱ショートしない。
- 液漏れした駅が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗った後、直ちに 医師の治療を受けてください。

### ▲警告

- +-(プラス/マイナス)を正しく入れる。
- ◆ +-(プラス/マイナス)を金属物に接触させない。また、金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり保管しない。
- 外装チューブをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした液が手や衣服に付いた時は直ちにきれいな水で洗い流すこと。
- 液漏れや変色、変形に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かない所へ保管する。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医者に相談する。

### ▲注意

- 強い衝撃を与えたり、投げつけない。
- 水に濡らさない。
- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の電池を混用して使用しない。
- 使用しない時は、機器から取り外す。
- 専用の充電池及び充電器以外は使用しない。

#### 充電池の廃棄について

使用済みの充電池は「充電式電池リザイクル協力店くらぶ」に加入の電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。



#### INDEX

1. はじめに	
1.1. 梱包内容の確認	
1.2. 外観と名称	
1.3. バッテリーの充電	
1.4. LED&ビープインディケータ	
1.5. 付属品を取り付ける	
リーダ に関する注意	
1.6. システムバーコード	
2. インターフェイスの設定	
USB-HID 接続	
キーボード が ションの設定(Bluetooth HID/USB-HID 共通)	
USB-COM 接続	
3. トリガモードの設定	11
4. トリガボタンの設定	
5. レーザエイマー/読取照明 LED の設定	11
6. ビープの設定	
7. 送信ディレイの設定	
読取データ間送信ディレイ	
キャラクタ間送信ディレイ 8.データフォーマットの設定	
8. ァータノオー Yット の	
クーニメーーク 読取データ桁数	
プリアンブ <sup>・</sup> ル/ポ゚ストアンブ <sup>・</sup> ル	
]-ド ID	
ב−ザ−⊒−ド ID	
9. 反転バーコード読み取りの設定	
10. 読取照合回数の設定	
11. キーボード(HID)の設定	16
キーボ <sup>*</sup> ート <sup>*</sup> レイアウト CAPS ロック	
ファンクションキー変換	16
ファンクションキー変換	
ファンクションオー変換	
ファソクショソキー変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード	
ファソクショソキー変換	
ファソクショソキー変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換.  12. メモリモード 最後の読取データを削除.  レコードフォーマット フィールドセパレータ	
ファソクショソキー変換	
ファソクショソキー変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換. 12. メモリモード 最後の読取データを削除. レコードフォーマット フィールドセパレータ 日付・時刻設定.	
ファソクショソキー変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除. レコードフォーマット フィールドセパレータ. 日付・時刻設定. 日付・時刻フォーマット 8. 読み取りパ-コードの設定 fャイナポスト.	
ファソウショソキー変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除.  レコードフォーマット フィールドセパレータ 日付・時刻設定. 日付・時刻設定. 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りバーコードの設定  チャイナポスト.  MSI	
ファソクショソキー変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除. レコードフォーマット フィールドセパレータ. 日付・時刻設定. 日付・時刻フォーマット 8. 読み取りパ-コードの設定 fャイナポスト.	
7 ア ワ ワ ク y 3 y 4 - 変換  HT / CR / ESC → TAB / ENTER / ESCAPE 変換  12. メモリモート・ 最後の読取データを削除 レコート・フォーマット フィール・セル・レータ 日付・時刻設定 日付・時刻設定 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りハ・コート・の設定 チャイナホ・スト MSI UK Plessey コート・93 Telepen	
ファックションキー変換.  HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード	
7 アソウショソキ-変換.  HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモート・ 最後の読取データを削除.  レコート・フォーマット フィールト・セル・レッタ 日付・時刻設定. 日付・時刻フォーマット 8. 読み取りハ・コート・の設定 チャイナホ・入ト MSI UK Plessey コート・93. Telepen IATA インターリーブ・ト・2/5.	
ファンクションキー変換。 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモート・ 最後の読取データを削除 レコート・フォーマット フィールト・セパ・レータ 日付・時刻設定。 日付・時刻設定。 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りバーコート・の設定 チャイナホ・スト MSI UK Plessey コート・93 Telepen IATA インターリーブ・ト・2/5。 コート・11	
7 アソウショソキ-変換.  HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモート・ 最後の読取データを削除.  レコート・フォーマット フィールト・セル・レッタ 日付・時刻設定. 日付・時刻フォーマット 8. 読み取りハ・コート・の設定 チャイナホ・入ト MSI UK Plessey コート・93. Telepen IATA インターリーブ・ト・2/5.	
77ソクションキー変換。 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除。 レコードフォーマット。 7ィールドセパレータ。 日付・時刻設定。 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りパ-コードの設定  ***********************************	
77ツクションキー変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除 レコードフォーマット フィールドセパレータ 日付・時刻設定 日付・時刻フォーマット 8. 読み取りパーコードの設定 チャイナポスト MSI UK Plessey Jード 93. Telepen IATA インターリープド 2/5. Jード 11. インダストリワル 2/5 マトリワス 2/5 マトリワス 2/5 マトリワス 2/5 Jーダバー(NW7) Jード 39.	
77ソクションキー変換。 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除。 レコードフォーマット。 7ィールドセパレータ。 日付・時刻設定。 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りパ-コードの設定  ***********************************	
7ァソウタョソキ-変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除 レコードフォーマット 日付・時刻設定 日付・時刻設定 日付・時刻フォーマット  8. 読み取のパーコードの設定 チャイオ・スト MSI UK Plessey コード 93 Telepen IATA イソターリープド・2/5 コード 11 インダストリアル 2/5 マトリクス 2/5 コート・11 インダストリアル 2/5 マトリクス 2/5 コート・39. UPC-E UPC-A EAN-8	
7 ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	
77ソクションキー変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリキード 最後の読取データを削除  レJードフォーマット アイールドセパレータ 日付・時刻設定 日付・時刻設定 日付・時刻設定 以び Plessey Jード 93. Telepen IATA イソターリープド゚ 2/5 Jード 11. インダ ストリアル 2/5 マトリワス 2/5 フーゲ パー(NW7) Jード 39 UPC-E UPC-A EAN-8 EAN-13 Jード 128	
7 ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア ア	
77ソクションヤ-変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除 UJードフォーマット 7イールドセパレータ 日付・時刻設定 日付・時刻設定 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りパーコードの設定 チャイナボスト MSI UK Plessey Jード 93 Telepen IATA (ソターリープド 2/5ド 11 (ソダストリアル 2/5 マトリクス 2/5ド 11 -(ソダストリアル 2/5 マトリクス 2/5ド 15ド 15ド 15ド 18 EAN-8 EAN-13ド 128 GS1-128 GS1 Databar - Omni & Stacked GS1 Databar - Limited	
77ソクショント-変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除 UJ-ドフォーマット. 7イールドセパレータ 日付・時刻スターマット  8. 読み取りパーコードの設定  チャイフポスト MSI UK Plessey J-ド 93. Telepen IATA (ソターリープド 2/5. J-ド 11. (ソダストリアル 2/5 ア・ドリアス 2/5 フーダパー(NW7). J-ド 39. UPC-E UPC-A EAN-8 EAN-13 J-ド 128 GS1-128 GS1-128 GS1 Databar - Omni & Stacked	
77ソクションヤ-変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除 UJードフォーマット 7イールドセパレータ 日付・時刻設定 日付・時刻設定 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りパーコードの設定 チャイナボスト MSI UK Plessey Jード 93 Telepen IATA (ソターリープド 2/5ド 11 (ソダストリアル 2/5 マトリクス 2/5ド 11 -(ソダストリアル 2/5 マトリクス 2/5ド 15ド 15ド 15ド 18 EAN-8 EAN-13ド 128 GS1-128 GS1 Databar - Omni & Stacked GS1 Databar - Limited	
77ソクションヤ-変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の読取データを削除 UJードフォーマット 7イールドセパレータ 日付・時刻設定 日付・時刻設定 日付・時刻フォーマット  8. 読み取りパーコードの設定 チャイナボスト MSI UK Plessey Jード 93 Telepen IATA (ソターリープド 2/5ド 11 (ソダストリアル 2/5 マトリクス 2/5ド 11 -(ソダストリアル 2/5 マトリクス 2/5ド 15ド 15ド 15ド 18 EAN-8 EAN-13ド 128 GS1-128 GS1 Databar - Omni & Stacked GS1 Databar - Limited	
77ツツョンキー変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモト・ 最後の誘取ア・サを削除 レフ・ド・フォーマット フィート・ ガレータ 日付・時刻設定. 日付・時刻設定. 日付・時刻フィーマット 8. 読み取りが、コード の設定 チャイオ スト MSI UK Plessey コード 93. Telepen IATA イツターリーアド 2/5 コート・ 11. イグダ ストリアル 2/5 コート・ 11. イグダ ストリアル 2/5 コート・ 13. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 1. ログローム EAN-8 EAN-13 コート・ 1.28 GS1 Databar - Omni & Stacked GS1 Databar - Limited GS1 Databar - Expanded	
77ツクションキー変換 HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモード 最後の誘取データを削除 レフードアォーマット フィールドセパレータ 日付・暗刻設定 日付・暗刻設定 日付・暗刻で、ーマット 8. 読み取りバーコードの設定  が付ボ スト MSI UK plessey J-ド93 Telepen TATA (フタッ プト)* 2/5 J-ド 11. (フタッ ストリアル 2/5 マトリアス 2/5 J-ド 11 インタ アトリアル 2/5 マトリアス 2/5 J-ダパー(NW7) J-ド 39 UPC-E UPC-A EAN-8 EAN-13 J-ド 128 GS1 Databar - Omni & Stacked GS1 Databar - Limited GS1 Databar - Expanded  補足 A. フルアスキーパ-コード表	
77ツツョンキー変換. HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換  12. メモリモト・ 最後の誘取ア・サを削除 レフ・ド・フォーマット フィート・ ガレータ 日付・時刻設定. 日付・時刻設定. 日付・時刻フィーマット 8. 読み取りが、コード の設定 チャイオ スト MSI UK Plessey コード 93. Telepen IATA イツターリーアド 2/5 コート・ 11. イグダ ストリアル 2/5 コート・ 11. イグダ ストリアル 2/5 コート・ 13. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 3. ログラストラ 1. ログローム EAN-8 EAN-13 コート・ 1.28 GS1 Databar - Omni & Stacked GS1 Databar - Limited GS1 Databar - Expanded	

#### 1. はじめに

この度は、弊社リング式ワイヤレスバーコードリーダ ringJAN™(以下、バーコードリーダ)をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、バーコードリーダのパラメータ設定を行うために用意された別冊ガイドです。基本的な導入方法に関しては、製品に同梱されている導入ガイドを参照ください。

本書に掲載しているコマンドバーコードを読み取ることで、バーコードリーダのインターフェイスや読み取りに関するパラメータ設定が行えます。設定されたパラメータは、不揮発性メモリに保存されるため、電源をわにして設定が消えることはありません。

バーコードリーダは、パラメータ設定開始コマンドバーコードやパラメータ設定終了コマンドバーコードを使用しなレハワンスキャンタイプのコマンドバーコードを採用しています。

バ-コードリーダは、ワンスキャンタイプのコマンドバ-コードをスキャンすると、ピピッというビ-プ音を鳴動し、コマンドバ-コード以外のバー コードをスキャンした場合は、ピッというグッドリードビ-プ音が鳴動します。

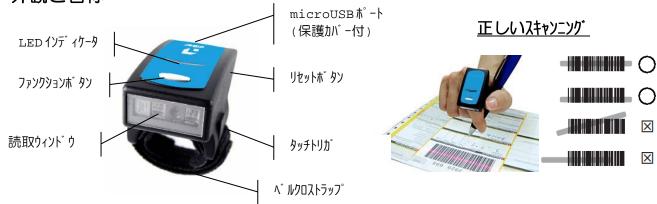
#### 1.1. 梱包内容の確認

梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

•	リーダ本体	1台
•	microUSBケーブル	1 本
•	microUSB 加 -	1 個
•	簡易取説(本書)	1 冊
•	マク゛ネットコネクタキット	1個(セット型式又は別途オプションとして購入された場合のみ)

製品の個装箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

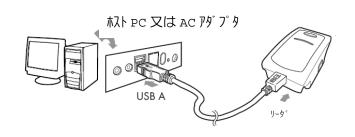
### 1.2. 外観と名称



(\*) トリガキーキーを長押しすると、リーダの電源がオンになります。

### 1.3. バッテリーの充電

付属の USB ケーブルでリーダと PC 又は AC アダプタを接続し、充電を行ってください。バッテリーが空の状態で、約 4 時間を要します。



#### 1.4. LED&L゛-フ゜インデ、ィケータ

ステータス	緑色LED	青色 LED	赤色 LED	ビープ
読取成功	1 回点滅	=	П	ビープ1 回
ワイヤレス接続成功	2 回点滅	-	ı	ビープ 2 🗆
コマント゛バ‐コード読取	1 回点滅	-	ı	ビープ 2 回
読取成功(メモリモード)	1 回点滅	=	II	ビ−プ 1 □
ワイヤレス接続切断	3 回点滅	-	ı	ビ−プ 3 □
無効なコマンドバーコード読取	1 回点滅	-	ı	ショートビープ 3 □
メモリフル	1 回点滅	=	II	ショートビープ 3 □
ワイヤレス接続切断中にバーコード読取	1 回点滅	=	II	ショートビープ 3 □
ワイヤレス接続圏外	1 回点滅	=	II	ショートビープ4回(高音・低音・高音・低音)
Bluetooth 検索可能	-	点滅	ı	-
ローバッテリ	-	-	点滅	ビープ 5 🛛
充電中	-	=	点灯	-
電源オフ又はスタンバイ	-	-	-	-

#### 1.5. 付属品を取り付ける

#### microUSB が -を取り付ける

microUSB カバーをご利用の場合は、下図のようにベルトホールなどを利用して、ストラップを取り付けてください。



#### マグネットコネクタを取り付ける

マグネットコネクタをご利用の場合は、下図のようにリーダ本体にマグネットコネクタを取り付けてください。もう一方は、付属のmicroUSB ケーブル又は別売のフレックスケーブルに取り付けてご利用ください。





(\*)摩耗により、マグネットコネクタのコンタクト部分の接触が悪くなった場合は、買い替えをお願いします。

### リーダに関する注意

- 操作を行う手又はベルクロストラップが水に濡れた状態の場合、トリガにタッチしなくてもレーザエイマーが照射されることがあります。このような状態でも、リーダの動作は可能ですが、バッテリーの消耗が激しくなりますので、手及びベルクロストラップの両方を完全に乾かしてから操作することをお勧めします。
- ラテックス試験グローブ,帯電防止グローブ,ホワイトコットングローブ(ラッテクスコーティング有り・無し),安全グローブ,ゴム製グローブは、タッチトリガでの動作試験済みです。しかし、タッチトリガの感度を保つため、素手又は可能な限り薄手グローブでの利用をお勧めします。
- ベルクロストラップをきつく締め過ぎず、リーダが動かない程度の適度な強さで装着してください。また、連続して使用する場合は、2 時間毎に 1 分間、ベルクロストラップを緩めて、リーダを指から取り外すようにしてください。指に違和感がある場合や、湿疹・かぶれなど異常を感じた場合は、使用をさけてください。

### **1.6.** システムバーコード

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ゛ィフォルト
. A O O 1 \$	   工場出荷時の初期状態(ディフォルト値)にリセットします。 	
. A O O 7 \$	ファームウェアバージョン情報を出力します。	
. B O 1 5 \$	コマンドバーコードを有効にします。	
. B 0 1 6 \$	コマンドバーコードを無効にします。	

### 2. インターフェイスの設定

コマント゛ハ゛−コート゛	説明	デ ィフォルト
. E 0 4 3 \$	Bluetooth HID	•
. C O O 8 \$	USB-HID 179-7117	
	USB-COM 179-7117	

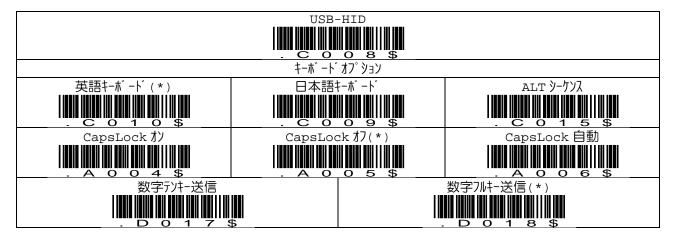
#### Bluetooth HID 接続

- 1. トリガボタンを約1秒間押し、リーダの電源をオンにします。
- 2. 「Bluetooth 切断」をスキャンします。ファンクションボタンを 5 秒間押し続けても同じ動作となります。
- 3. 「Bluetooth HID」を
  なすりします。
- 4. マスターデバイスに合わせて、「ios/MAC/WINDOWS」又は「Android」をスキャンします。
- 5. PC や iPhone などのマスターデバイスでリーダを検索し、ペアリングを行います。
- 6. 接続が完了すれば、ビープを 2 回鳴動します。



#### USB-HID 接続

必要に応じて、キーボードオプションの設定を行ってください。



#### キーボードオプションの設定(Bluetooth HID/USB-HID 共通)



### USB-COM 接続



### 3. トリガモードの設定

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. F O O 5 \$	<u></u>	
. F O O 2 \$	<u>レーザモード</u> トリガキーを押している間、読取 LED を点灯して、バーコードの読み 取りを行います。	•

### 4. トリガ ボ タンの設定

コマント゛ハ゛−コート゛	説明	デ ィフォルト
. F 0 6 4 \$	右りがずめのみ有効	
. F 0 6 5 \$	左トリガボタンのみ有効	
. F O 6 6 \$	左右トリガボタンともに有効	

### 5. レーザエイマー/読取照明 LED の設定

レーザIイマー又は照明 LED の何れかをわに設定することで電池の消耗を抑え、動作時間を長くすることが可能です。 但し、照明 LED をわにすると、周囲照明に依存した読み取りとなり、読み取り率の低下原因となりますので、運用 には、十分ご注意ください。

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. F O 5 9 \$	レーザエイマーオン&照明 LED1 秒後オン	-
. F 0 4 9 \$	レーザ、エイマーオン&照明 LED 自動適応	
. F O 4 8 \$	レーザ゛エイマーオン&照明 LED オン	
. F O 4 7 \$	レーザ゛エイマーオン&照明 LED オフ	
. F O 4 6 \$	レーザ゛エイマーオフ&照明 LED オン	

### 6. ビープの設定

コマント゛ハ゛−コート゛	説明	デ゛ィフォルト
. F O 1 2 \$	ピープ無し	
. F O 1 9 \$	ピープ。高音	
. F O 1 8 \$	ピープ・中音	•
. F 0 2 2 \$	ビープ低音	

### 7. 送信ディレイの設定

# 読取データ間送信ディレイ

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. B O O 1 \$	o ミリ秒	•
. B O O 2 \$	10 ミリ秒	
. B O O 3 \$	50 判秒	
. B O O 4 \$	100 刘秒	
. B O O 5 \$	200 刘秒	
. B O O 6 \$	500 ミリ秒	

### キャラクタ間送信ディレイ

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ゛ィフォルト
. B 0 1 0 \$	140 マイクロ秒	=
. B O 1 1 \$	500 マイクロ秒	
. B 0 1 2 \$	1 刘秒	
. B O 1 3 \$	4 >リ秒	
. B O 1 4 \$	16 刘秒	

# 8. データフォーマットの設定

# ターミネータ

送信フォーマット					
プ リアンブ ル	]-\ ID	読取データ桁数	読取データ	ポストアンブル	ターミネータ

コマント゛ハ゛-コート゛	説明	デ ィフォルト
. D 0 1 0 \$	無し	
. D 0 1 1 \$	LF	
. D 0 1 2 \$	CR(I)ターキー)	■ (HID)
. D 0 1 3 \$	CR+LF	(VCP)
. D O 1 4 \$	TAB	
. D O 1 5 \$	λ^° −λ	
. D 0 1 6 \$	ESC	

### 読取データ桁数

送信フォーマット					
プ リアンブ ル	]-\ ID	読取データ桁数	読取データ	ポストアンブル	ターミネータ

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. D 0 2 0 \$	無し	
. D 0 1 9 \$	有り(2 桁送信 ex:5 桁=05)	

### プリアンフ゛ル/ポストアンブル

送信フォーマット					
フ゜リアソフ゛ル	]-  ID	読取データ桁数	読取データ	ホ° ストアソフ゛ル	ターミネータ

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	ディフォルト
. A O 1 1 \$	無し(全クリア)	•
. A 0 1 2 \$	プ <sup>°</sup> リアソフ <sup>°</sup> ル   「プ <sup>°</sup> リアソフ <sup>°</sup> ル」をスキャソし、続けて、設定したいキャラクタを「補足 A. フル   アスキーハ・-コート・」から 16 文字以内でスキャソし、最後に「プ <sup>°</sup> リアソフ <sup>°</sup> ル」を   再度スキャソします。例えば、@@に設定したい場合は、「プ <sup>°</sup> リアソフ <sup>°</sup> ル」   「@」「@」「プ <sup>°</sup> リアソフ <sup>°</sup> ル」の順にスキャソします。	
. A O 1 3 \$	<u>ポストアンブル</u> 「ポストアンブル」をスキャンし、続けて、設定したいキャラクタを「補足 a. フ ルアスキーバーコード」から 16 文字以内でスキャンし、最後に「ポストアンブル」 を再度スキャンします。例えば、##に設定したい場合は、「ポストアン ブル」「#」「#」「ポストアンブル」の順にスキャンします。	

# ]-|\* ID

送信フォーマット					
プ リアンブ ル	]-  ID	読取データ桁数	読取データ	ポストアンブル	ターミネータ

コマント゛ハ゛-コート゛	説明	デ゛ィフォルト
. A O O 9 \$	無し	=
. A O O 8 \$	既定コードɪɒ	
. A O 1 4 \$	aim ]-ŀ id	
. A 0 1 5 \$		

バ−コ−ドシンボル	規定コードɪɒ	AIM ID	バ−コ−ドシンボル	規定コードɪɒ	AIM ID
GS1-128	Т	]C1	MSI	0	] M0
]-ド 128	K	]C0	MSI MOD10 CD 送信無し	O	]M1
EAN8		]E4	]-ド 32	В	]X0
EAN8 アドオン 2	S	]E4	]-9 N − (NW7)		]F0
EAN8 アドオン 5		]E4	ABC ]-9° N° -	N	]F1
UPCE		]E0	]-ダバ- CD 送信有り	IN .	]F2
UPCE アドオン 2	E	]E3	]-ダバ- CD 送信無し		]F4
UPCE アドオン 5		]E3	UK Plessey	P	]P0
UPCA		]E0	マトリクス 2/5	Y	]X0
UPCA アドオン 2	A	]E3	コード 39 フルアスキー CD 無し		]A4
UPCA アドオン 5		]E3	]-ド 39 フルアスキ- CD 送信有り	D	]A5
EAN13		]E0	コード 39 フルアスキー CD 送信無し		]A7
EAN13 アドオン 2	F	]E3	J-ド39 CD無し		]A0
EAN13 アドオン 5		]E3	]-ド 39 CD 送信有り	M	]A1
]-h 93	L	]G0	]-ド 39 CD 送信無し		]A3
J-ド11 CD無し		]H0	IATA2/5	R	]R0
]-ド11 1CD 送信	J	]H0	1 <sup>2</sup> 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	V	]S0
]-ド11 2CD 送信		]H1	チャイナポスト 2/5	H	]X0
コード 11 CD 送信無し		]H3	インターリーブド2/5 CD無し		]IO
Telepen ASCII	TJ.	]B0	インターリーブド 2/5 CD 送信有り	I	] [ ]
Telepen Numeric	U	]B1	インターリーブド 2/5 CD 送信無し		]I3

### ユーザ ーコート ID

下記の手順に従って、ユーザーコード ID を設定します。

- 1. ユーザーコード ID を設定したい「バーコードタンボル」をスキャンします。
- 2. 続けて、設定したいキャラクタを「補足 A. フルアスキーバーコード」から 2 文字以内でスキャンします。
- 3. 最後に「バーコードタンボル」を再度スキャンします。

例えば、]-ド 39 のユーザ-]-ド ID を##に設定したい場合は、「]-ド 39」「#」「#」「#」「-ド 39」の順にスキャンします。

ハ゛ーコート゛シンホ゛ル						
EAN13 	EAN8	UPCE				
UPCA	]- ` 39 	□-\* 93 				
]-9° N° - (NW7)	IATA	]-  128 				
GS1-128 	Telepen  . P 0 2 2 \$					
コード 32 	₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹₹	MSI . P O 1 4 \$				
UK Plessey	マトリクス 2/5 	インターリーブ ド 2/5 				
1)タ ストリアル 2/5 	]- h 39 7h7 λ + -	GS1 Databar Limited  . P 0 1 9 \$				
GS1 Databar Expanded  . P 0 2 0 \$	GS1 Databar	予備 				

### 9. 反転バーコード読み取りの設定

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	ディフォルト
. D 0 2 1 \$	無し	•
. D 0 2 2 \$	有り	

### 10. 読取照合回数の設定

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. A O 1 O \$	読取照合回数 「読取照合回数」をスキャンし、続けて、設定したいキャラクタを「補足A.フルアスキーバーコード」から 1~9 の範囲で数字をスキャンし、最後に「読取照合回数」を再度スキャンします。例えば、9 回に設定したい場合は、「読取照合回数」「9」「読取照合回数」の順にスキャンします。	1

### 11. キーボード(HID)の設定

### キーボート レイアウト

本書では、下記の3種のみを掲載しています。その他のレイアウトをご希望の場合は、お問い合わせください。







#### CAPS ロック







#### 数字データ送信





#### ファソクションキー変換

ファンクションキー変換を無効にした場合、「補足 A. フルアスキーバーコード表」でファンクションキーとしてフルアスキーIソコード されたデータがそのまま送信されます。例えば、有効な場合、「\$TA」は、F1 キーとして送信されますが、無効な場合、\$TA とそのまま送信されます。





### HT/CR/ESC→TAB/ENTER/ESCAPE 変換



. D O 2 5 \$
HT[\$I],CR[\$M],ESC[\$A]は、それぞれキーボードの
<TAB>,<ENTER>,<ESC>キーとして送信されます。



. D O 2 6 \$
HT[\$I],CR[\$M],ESC[\$A]は、それぞれ
<0x09>,<0x0D>,<0x1B>として送信されます。

### 12. XEUE-F

メモリモードでは、読み取ったデータは、リーダの不揮発性メモリにテキストファイル「BARCODE.TXT」として保存されます。付属のmicroUSB ケーブルでホスト PC と接続することで、リーダ はリムーバブルディスク「MiniScan」として認識されます。「BARCODE.TXT」をそのままオープ ソして利用するか、別のフォルダへコピーして利用ください。他のインターフェイスに設定すると、メモリモードを終了します。

メモリモード(2MB, JAN13 約2万レフード保存可能)



### 最後の読取データを削除

ファンクションボタンを押すか、下記のコマンドバーコードをスキャンすることで、最後に読み取ったデータをメモリから削除することができます。





### レコート フォーマット

ディフォルトのレコードフォーマットを変更したい場合は、設定を行ってください。

ディフォルトレコードフォーマット
<日付>,<時刻>,<読取データ>

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明			デ ィフォルト
. R O 1 1 \$	<u>UJ-ドフォ-マット</u> 「UJ-ドフォ-マット」をスキャンし、総る数字を数値バ-J-ドで順番を再度スキャンします。例えば送信したい場合は、「UJ-ド゙ス順にスキャンします。	番にスキャンし、最後に「レコート ホ、<読取データ><日付><時	、フォーマット」 刻>の順に	
	2	日付		
	3 時刻			
	4 読取データ			
		-		

### フィールト゛セハ゜レータ

フィールドを区切るセパレータを設定します。ディフォルトは、「,」です。

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. R 0 1 0 \$	<u>フィールド・セハ° レータ</u> 「フィールト・セハ° レータ」をスキャソし、続けて、送信したいキャラクタを「補足A.フルアスキーハ・コート・表」からスキャソし、最後に「フィールト・セハ° レータ」を再度スキャソします。例えば、「;」の順に送信したい場合は、「フィールト・セハ° レータ」「;」「フィールト・セハ° レータ」の順にスキャソします。	, (

### 日付·時刻設定

内蔵リアルタイムクロックの設定を行います。 バッテリーが完全に無くなると、リアルタイムクロックの値を保持できません。 バッテリーが完全に無くなった場合は、フル充電後、リアルタイムクロックの再設定を行ってください。

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. R O O 6 \$	日付設定 「日付設定」をスキャンし、続けて、送信したい日付(YYMMDD)を数値バーコードでスキャンし、最後に「日付設定」を再度スキャンします。例えば、2017年7月25日に設定したい場合は、「日付設定」「1」「7」「0」「7」「2」「5」「日付設定」の順にスキャンします。	
. R O O 7 \$	<u>時刻設定</u> 「時刻設定」をスキャンし、続けて、時刻(HHMMSS)を数値バーコード でスキャンし、最後に「時刻設定」を再度スキャンします。例えば、14 時 10 分 30 秒に設定したい場合は、「時刻設定」「1」「4」「1」「0」 「3」「0」「時刻設定」の順にスキャンします。	

数値バーコード		
3	4	5
6	7 	8
9		やり直し 

### 日付・時刻フォーマット

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. R O O 8 \$	□付フォーマット 「日付フォーマット」をスキャンし、続けて、送信したい日付フォーマットに対応する数字を数値バーコードでスキャンし、最後に「日付フォーマット」を再度スキャンします。例えば、DD/MM/YYYY=09 したい場合は、「日付フォーマット」「0」「9」「日付フォーマット」の順にスキャンします。    番号 日付フォーマット 番号 日付フォーマット 01 DD-MM-YYYY 09 DD/MM/YYYY 02 MM-DD-YYYY 10 MM/DD/YYYY 03 DD-MM-YY 11 DD/MM/YY 04 MM-DD-YY 12 MM/DD/YY 05 YYYY-MM-DD 13 YYYY/MM/DD 06 YY-MM-DD 14 YY/MM/DD 06 YY-MM-DD 14 YY/MM/DD 07 DD-MM 15 DD/MM	7 17 21/1
	08   MM-DD   16   MM/DD	
. R O O 9 \$	ット」0」「1」時刻フォーマット」の順にスキャンします。 <u>番号</u> 時刻フォーマット 01 HH:MM:SS 02 HH:MM	

数値バーコード			
o    <b>            </b>	1    <b>          </b>		
3	4	5    <b>           </b>	
6    <b>           </b>	7 	8	
9		やり直し 	

# 8. 読み取りバーコードの設定

コマント゛ハ゛-コート゛	説明	デ ィフォルト
. A O O 2 \$	全てのバーコードを読み取る	
. A O O 3 \$	全てのバーコードを読み取らない	

# チャイナホ゜スト

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明		デ ィフォルト
. K O O 1 \$	読み取り有り		
. K O O 2 \$	読み取り無し		•
. K O O 3 \$	チェックデジット検査無し		
. K O O 4 \$	チェックデダット検査有り & 送信有り		
. K O O 5 \$	チェックデダット検査有り & 送信無し		
. K O O 6 \$	<u>読取最小桁数</u> 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例え ば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 桁数」の順にスキャンします。		11
	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
0			
3		5   <b>       </b>	
6	7 		
9   <b>          </b>		やり直し 	<b>      </b> 3 \$

### MSI

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明		デ ィフォルト
. L O O 1 \$	読み取り有り		
. L O O 2 \$	読み取り無し		
. L O O 4 \$	チェックデジット検査有り & 送信有り		•
. L O O 3 \$	チェックデダット検査有り & 送信無し		
	チェックテ゛ジ ット タ゛ブル Mod10		
. L O O 8 \$	チェックデジット ダブル Mod11&10		
. L O O 9 \$	チェックデジット シングル Mod10	•	
. L O O 5 \$	<u>読取最小桁数</u> 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を ば、11 に設定したい場合は、「読取最小 桁数」の順にスキャンします。	6	
	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値パーコード	_	
3		5   <b>         </b>	
6 	7	8	
9    <b>           </b>		やり直し 	

# **UK Plessey**

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. L O 1 O \$	読み取り有り	
. L O 1 1 \$	読み取り無し	•
. L O 1 2 \$	チェックデダット検査有り & 送信有り	
. L O 1 3 \$	チェックデダット検査有り & 送信無し	

# **]-ド 93**

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明		ディフォルト
. G O 1 O \$	読み取り有り		
. G O 1 1 \$	読み取り無し		
. G 0 1 2 \$	<u>読取最小桁数</u> 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を ば、11 に設定したい場合は、「読取最小 桁数」の順にスキャンします。	6	
. G 0 1 3 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
数値バーコード			
o    <b>           </b>			
		5   <b>         </b>	
6    <b>          </b>	7	8	
9    <b>          </b>		やり直し 	3 \$

# Telepen

コマント゛ハ゛-コート゛	説明	デ゛ィフォルト
. L O 1 4 \$	読み取り有り	
. L O 1 5 \$	読み取り無し	•
. L O 2 O \$	ASCII 917°	•
. L O 2 1 \$	Numeric 917°	

### **IATA**

``\*\*\-\-\*	説明		デ ィフォルト
. N O 1 7 \$	読み取り有り		
. N O 1 8 \$	読み取り無し		•
. N O 1 9 \$	チェックデダット検査無し		
. N O 2 O \$	チェックデダット検査有り & 送信有り		
. N 0 2 1 \$	チェックデジット検査有り & 送信無し		
. N O 2 2 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 行数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例え ば、11に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 行数」の順にスキャンします。		6
. N O 2 3 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
3		5   <b>         </b>	
6	7	8	
9		やり直し 	

### インターリーブ ト 2/5

`/-Ľ- Ĭ\` -\`	説明		デ゛ィフォルト
. J O O 1 \$	読み取り有り		•
. J O O 2 \$	読み取り無し		
. J O O 3 \$	チェックデダット検査無し		•
. J O O 4 \$	チェックデダット検査有り & 送信有り		
. J O O 5 \$	チェックデダット検査有り & 送信無し		
. J O O 8 \$	先頭桁削除		
. J O O 9 \$	最終桁削除		
. J O 1 4 \$	先頭桁/最終桁削除無し		•
. J O O 6 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 桁数」の順にスキャンします。		6
. J O O 7 \$	請取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
3    <b>           </b>	4	5   <b>        </b>	
6   <b>           </b>	7	8	
9    <b>          </b>		やり直し 	

# ]-ド 11

コマント゛ハ゛−コート゛	説明		デ ィフォルト
. 1 0 1 0 \$	読み取り有り		
. I O 1 1 \$	読み取り無し		•
. I O 1 2 \$	チェックデジット検査無し		•
. I O 1 3 \$	チェックデジット検査有り & 送信有り		
. 1 0 4 2 \$	チェックデジット検査有り & 送信有り(1桁)		
. 1 0 4 3 \$	チェックデダット検査有り & 送信有り(2桁)		
. I O 1 4 \$	チェックデダット検査有り & 送信無し	チェックデジット検査有り & 送信無し	
. I O 1 5 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 桁数」の順にスキャンします。		6
. I O 1 6 \$	<u>読取最大桁数</u> 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		32
	数値バーコード		
0			
3		5 	
6	7    <b>          </b>	8	
9   <b>          </b>		やり直し 	3 \$

# インダ ストリアル **2/5**

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明		デ ィフォルト
. N O O 1 \$	読み取り有り		
. N O O 2 \$	読み取り無し		•
. N O O 3 \$	チェックデダット検査無し		•
. N O O 4 \$	チェックデダット検査有り & 送信有り		
. N O O 5 \$	チェックデダット検査有り & 送信無し		
. N O O 6 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 行数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 行数」の順にスキャンします。		6
. N O O 7 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
o   <b>             </b>			
3	4	5   <b>         </b>	
6	7	8	
9		やり直し 	3 \$

### マトリクス 2/5

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明		デ ィフォルト
. M O 1 O \$	読み取り有り		
	読み取り無し		•
. M O 1 2 \$	チェックデダット検査無し		•
. M O 1 3 \$	チェックデダット検査有り & 送信有り		
	チェックデダット検査有り & 送信無し		
. M O 1 5 \$	売取最小桁数 一読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 行数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 行数」の順にスキャンします。		6
. M O 1 6 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例えば、48に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
3	4	5    <b>         </b>	
6 	7	8	
9    <b>           </b>		やり直し 	

# □-ダバ-**(NW7)**

	説明		ディフォルト
. I O O 1 \$	読み取り有り		•
. 1 0 0 2 \$	読み取り無し		
. 1 0 0 5 \$	チェックデジット検査無し		
	チェックデジット検査有り & 送信有り		
	チェックデジット検査有り & 送信無し		
	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 行数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例え ば、11に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 行数」の順にスキャンします。		6
	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
o    <b>            </b>			
3    <b>          </b>	4	5    <b>         </b>	
6	7    <b>          </b>	8	
9    <b>           </b>		やり直し 	3 89 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80 80

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. I O 3 O \$	スタート/ストップ abcd/abcd	
. 1 0 2 9 \$	スタート/ストップ。 ABCD/ABCD	
. I O 3 1 \$	スタート/ストップ <sup>°</sup> ABCD/TN*E	
. I O 3 2 \$	スタート/ストップ abcd/tn*e	
. I O O 3 \$	スタート/ストップ送信有り	•
. I O O 4 \$	スタート/ストップ送信無し	
. I O 2 7 \$	CLSI フォーマット変換有り	
. 1 0 2 8 \$	CLSI フォーマット変換無し	•

# **]-ド 39**

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明		デ ィフォルト
. G O O 8 \$	読み取り有り		•
. G O O 9 \$	読み取り無し		
. G O O 2 \$	フルアスキー無し		
. G O O 1 \$	フルアスキー有り		-
. G 0 1 5 \$	スタート/ストップ送信無し		-
. G 0 1 4 \$	スタート/ストップ送信有り		
. G O O 3 \$	チェックデジット検査無し		•
. G O O 4 \$	チェックデジット検査有り & 送信有り		
. G O O 5 \$	チェックデダット検査有り & 送信無し		
. G O O 6 \$	<u>読取最小桁数</u> 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例えば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 桁数」の順にスキャンします。		1
. G O O 7 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
o   <b>             </b>			
3	4	5   <b>         </b>	
6    <b>            </b>	7	8	
9    <b>          </b>		やり直し 	

### **UPC-E**

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. H O O 7 \$	読み取り有り	-
. H O O 8 \$	読み取り無し	
. H O 1 O \$	先頭桁送信無し	
. H O O 9 \$	先頭桁送信有り	
. H O 1 2 \$	チェックデジット送信無し	
. H O 1 1 \$	チェックデジット送信有り	
. нозв\$	アドオン 5 読み取り無し	
. ноз 7 \$	アドオン 5 読み取り有り	
. H O 4 O \$	アドオン 2 読み取り無し	
. ноз 9 \$	アドオン 2 読み取り有り	
. H O 4 8 \$	アト゛オンセハ゜レータ無し	
. H O 4 7 \$	アドオンセパレータ有り(スペース)	
. H O 5 5 \$	アドオン必須読み取り無し	
. H O 5 6 \$	アドオン必須読み取り有り	
. H O 6 4 \$	UPC-E0 読み取り無し	
. но 6 з \$	UPC-E0 読み取り有り	
. H O 6 5 \$	UPC-E1 読み取り無し	
. H 0 6 6 \$	UPC-E1 読み取り有り	
. H O 5 4 \$	UPC-A 変換無し	
. H O 5 3 \$	UPC-A 変換有り	

### **UPC-A**

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	ディフォルト
. H O O 1 \$	読み取り有り	•
. H O O 2 \$	読み取り無し	
. H O O 4 \$	先頭桁送信無し	
. нооз\$	先頭桁送信有り	•
. H O O 6 \$	チェックデダット送信無し	
. H O O 5 \$	チェックデジット送信有り	
. H O 3 4 \$	アドオン 5 読み取り無し	
. H O 3 3 \$	アドオン 5 読み取り有り	
. H O 3 6 \$	アドオン 2 読み取り無し	
. H O 3 5 \$	アドオン 2 読み取り有り	
. H O 4 6 \$	アドオンセパレータ無し	
. H O 4 5 \$	アドオンセパレータ有り(スペース)	
. H O 5 9 \$	アドオン必須読み取り無し	
. H O 6 O \$	アドオン必須読み取り有り	
. H O 6 7 \$	EAN-13 変換無し	
. H O 6 8 \$	EAN-13 変換有り	

### EAN-8

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	デ ィフォルト
. H O 1 9 \$	読み取り有り	
. H O 2 O \$	読み取り無し	
. H O 2 2 \$	先頭桁送信無し	
. H O 2 1 \$	先頭桁送信有り	
. H O 2 4 \$	チェックデジット送信無し	
. H O 2 3 \$	チェックデジット送信有り	
. нозо\$	アドオン 5 読み取り無し	
. H O 2 9 \$	アドオン 5 読み取り有り	
. H O 3 2 \$	アドオン 2 読み取り無し	•
. H O 3 1 \$	アドオン 2 読み取り有り	
. H O 4 4 \$	アト゛オンセハ゜レータ無し	
. H O 4 3 \$	アドオンセパレータ有り(スペース)	
. H O 6 1 \$	アドオン必須読み取り無し	
. H 0 6 2 \$	アドオン必須読み取り有り	

### **EAN-13**

コマント゛ハ゛-コート゛	説明	デ ィフォルト
. H O 1 3 \$	読み取り有り	•
. H O 1 4 \$	読み取り無し	
. H O 1 6 \$	先頭桁送信無し	
. H O 1 5 \$	   先頭桁送信有り 	•
. H O 1 8 \$	チェックデダット送信無し	
. H O 1 7 \$	チェックデダット送信有り	•
. H 0 2 6 \$	アドオン5読み取り無し	•
. H 0 2 5 \$	アドオン 5 読み取り有り	
. H O 2 8 \$	アドオン 2 読み取り無し	
. H O 2 7 \$	アドオン 2 読み取り有り	
. H O 4 2 \$	アト゛オンセハ゜レータ無 し	-
. H O 4 1 \$	アドオンセパレータ有り(スペース)	
. H O 5 7 \$	アドオン必須読み取り無し	•
. H O 5 8 \$	アドオン必須読み取り有り	
. H O 5 O \$	ISBN 変換無し	•
. H O 4 9 \$	ISBN 変換有り	
. H O 5 2 \$	ISSN 変換無し	•
. H O 5 1 \$	ISSN 変換有り	

# ]-ド **128**

`\^ -]-ド	説明		ディフォルト
. J O 1 O \$	読み取り有り		
. J O 1 1 \$	読み取り無し		
. J O 1 2 \$	読取最小桁数 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例え ば、11 に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 桁数」の順にスキャンします。		5
. J O 1 3 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		48
	数値バーコード		
o    <b>           </b>			
3		5   <b>        </b>	
6    <b>         </b>			
9		やり直し 	<b>      </b>

### **GS1-128**

コマント゛ハ゛−コート゛	説明	デ ィフォルト
. M O O 1 \$	読み取り有り	•
. M 0 0 2 \$	読み取り無し	
. M O O 4 \$	] c1 送信無し	•
. M O O 3 \$	]c1 送信有り	
. M O O 6 \$	GS(FNC1)送信無し	•
. M O O 5 \$	GS(FNC1)送信有り	
. M O O 7 \$	GS 置換キャラクタ 「GS 置換キャラクタ」をスキャソし、続けて、設定したいキャラクタを「補足A.フルアスキーバーコード」から1文字スキャンし、最後に「GS 置換キャラクタ」を再度スキャンします。例えば、@に設定したい場合は、「GS 置換キャラクタ」「@」「GS 置換キャラクタ」の順にスキャンします。	

♣ GS1-128 を読み取る場合は、]-ド128 も読み取り有りに設定してください。

### GS1 Databar - Omni & Stacked

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	ディフォルト
. N O 3 2 \$	読み取り有り	
. N O 3 3 \$	読み取り無し	•
. N O 3 5 \$	チェックデダット送信無し	•
. N O 3 4 \$	チェックデジット送信有り	
. N O 3 7 \$	アプリケーション エD(01)送信無し ■	
. N O 3 6 \$	アプリケーション エD(01)送信有り	
. N O 3 9 \$	Stacked 読み取り無し	
. N O 3 8 \$	Stacked 読み取り有り	

### **GS1** Databar – Limited

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明	ディフォルト
. N O 1 O \$	読み取り有り	
. N O 1 1 \$	読み取り無し	
. N O 1 3 \$	チェックデジット送信無し	
. N O 1 2 \$	チェックデジット送信有り	
. N O 2 5 \$	アプリケーション ID(01)送信無し	
. N O 2 4 \$	アプリケーション エD(01)送信有り	

# **GS1** Databar – Expanded

コマント゛ハ゛ーコート゛	説明		デ ィフォルト
. N O 2 6 \$	読み取り有り		
. N O 2 7 \$	読み取り無し		•
. N O 2 9 \$	Stacked 読み取り無し		
. N O 2 8 \$	Stacked 読み取り有り		•
. N O 3 O \$	<u>読取最小桁数</u> 「読取最小桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最小桁数」を再度スキャンします。例え ば、11に設定したい場合は、「読取最小桁数」「1」「1」「読取最小 桁数」の順にスキャンします。		1
. N O 3 1 \$	読取最大桁数 「読取最大桁数」をスキャンし、続けて、数値バーコードで設定したい 桁数をスキャンし、最後に「読取最大桁数」を再度スキャンします。例え ば、48 に設定したい場合は、「読取最大桁数」「4」「8」「読取最大 桁数」の順にスキャンします。		
	数値バーコード		
o   <b>            </b>			
3   <b>             </b>		5 	
6   <b>            </b>	7    <b>          </b>		
9   <b>           </b>		やり直し 	<b>       </b>

### 補足 A. フルアスキーバーコード表

MUL	SOH
STX	ETX
* \$ B * EOT	* \$ C *  ENQ
* \$ D * ACK	* \$ E * BEL
* \$ F *  BS	* \$ G * HT
* \$ H *  LF	* \$ I * VT
* \$ J * FF	* <b>\$ K</b> *
* \$ L * SO	* \$ M * SI
* \$ N * DLE	* \$ O *  DC1
* \$ P * DC2	DC3
DC4	NAK
* \$ T * SYN	* \$ U * ETB
* \$ V *  CAN	* \$ W * EM
* \$ X * SUB	######################################
* \$ Z * FS	GS
* % B *  RS	* % C * US
* % D *	
. P 0 2 3 \$	

SPACE	
* / B *	
ধ	* * *
	, 
* / J *	
	- 
: 	; 
* % G *	* % H *
	? 
1	2 
* 3 *	
* 3 * 5 * 7 * 9 * * 9 *	* 4 * 6 * 8 * 8 * A
7 	
9 	
がり直し 	

B	C
* B *	* C *
* D *	
	# G * I
* H *	
	K K * K *
	* K *  M  * M *
* L * N	* M * O IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII
P	Q
	* Q * S
	# S * U # U #
* T * V	* U *
* * * * Z * *	* % K *
Z 	* % M *
* % W *	
やり直し 	

d	
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
	g 
h	**************************************
	k
	* + K *
n	
* + N *  p	
t 	* + S *  u
	* + W *   Y
	* % P *
* % Q *	* % R * DEL
* % S * * * % T * * % T * * % T * * % T * * * % T * * * % T * * * % T * * * % T * * * *	

F1	F2
* <b>5 T A</b> * F3	* \$ T B * F4
* \$ T C * F5  * \$ T E * F7	* \$ T D * F6  * \$ T F * F8
* \$ T G * F9	* \$ T H * F10
Home	End
* \$ T M *  Enter(\bar{7}\bar{7}\bar{7}\bar{7}\)  * \$ T + D *	* \$ T N *  App  * \$ T + O *
→   <b>                </b> * \$ T O *	←   <b>                </b> * \$ T P *
	<b>                </b> * \$ T R *
* \$ T Q * Page Up  * \$ T S *	* \$ T R * Page Down  * \$ T T *
Tab	Back Tab  * \$ T V *  Enter
ESC IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	
BS 	* \$ T X * Ins  * \$ T Z *
やり直し 	

Del 	左Alt Make 
*************************************	右 Alt Make
* \$ T % M *	* \$ T + E *  左 Shift Make
<u>* \$ T + F *</u> 左 Shift Break	* \$ T % N *
* \$ T % O * 右 Shift Break	* \$ T + I *  左 Windows Make
* \$ T + J * 左 Windows Break	* \$ T + K *
* \$ T + L * 右 Windows Break	* \$ T + M * 左Ctrl Make  * \$ T % W *
* \$ T + N *  左Ctrl Break	右Ctrl Make
* \$ T + A *	* \$ T + G *
やり直し 	

# 補足 A. ASCⅡ ]-ド表

	0		1		2	3	4	5	6	7
0	NUL	^@	DLE	^P	SP	0	@	Р	•	р
1	SOH	^A	DC1	Q	!	1	Α	Q	a	q
2	STX	^B	DC2	^R	"	2	В	R	b	r
3	ETX	^C	DC3	S <	#	3	C	S	С	S
4	EOT	^D	DC4	<b>^</b> T	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	^E	NAK	7	%	5	Ш	U	е	u
6	ACK	^F	SYN	^\	&	6	L	V	f	V
7	BEL	^G	ETB	<b>^W</b>	6	7	G	W	g	W
8	BS	^H	CAN	^X	(	8	Ι	Χ	h	Х
9	HT	^	EM	<b>^Y</b>	)	9	I	Υ		У
Α	LF	۸J	SUB	^Z	*		J	Z	j	Z
В	VT	^K	ESC	^[	+	•	K	[	k	{
С	FF	^L	FS	^¥	,	<	L	¥	I	
D	CR	^M	GS	^]	-	II	М	]	m	}
Е	SO	^N	RS	^		^	Ν	٨	n	~
F	SI	^O	US	^_	/	?	0	_	0	DLE

### 補足 C. サンプルバーコード













### 修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てセンドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

弊社での修理は、ユニット(モジュール)単位の動作不良報告及び交換を行っています。故障原因調査・解析の報告は行っておりませんの、予めご了承ください。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番(名称)			
製造番号 (S/N)			
付属品	ケーブル[	]・A Cアダプタ	
トラブルの症状を詳しく記また、症状を確認するためください。		♪磁気カード等があ <sup>ぇ</sup>	れば、修理品に添付してお送り
症状発生頻度 : インターフェイス : 接続ホスト : その他、使用状況を記入く	<ul><li>□ キーボード</li><li>□ その他</li><li>メーカー</li><li>型番</li></ul>	□ 1 日に [ ]匝 □ RS232C [ [ [	□程度 □ USB ] ] ]
返送先			
見積・請求先			
	見積後に修理をキャンセルされた ご了承いただける場合は、押印の		